

みんなで創ろう!!世界に誇れる“ふじのくに”!!

「人口減少・超高齢化」は先進国がいずれは直面する状況です。人口増加が続く米国、中国、インド、東南アジア諸国等も、遠くない将来「人口減少・超高齢化」を迎えます。

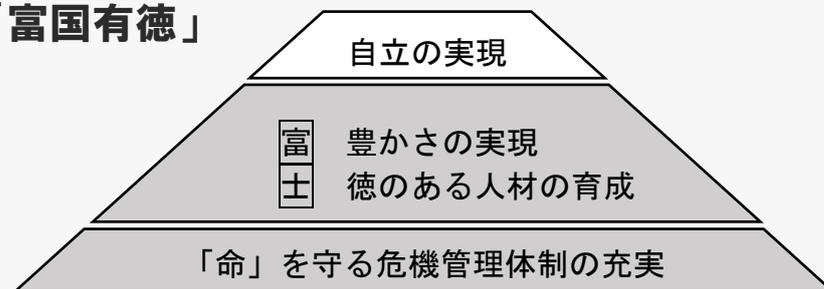
日本は既に「人口減少・超高齢化」が急速に進む「世界最先端」の国。その真ん中にある静岡県では、これまでの8年間の取り組みにより、世界文化遺産登録された富士山等、地域の資源や魅力が世界に向けて大きく花開こうとしています。

「人口減少・超高齢化」に伴う課題を乗り越えた、「世界最先端」の静岡県の実現、「ふじのくに」づくりの総仕上げを、次の4年間、全力で進めます。世界最先端の静岡県、世界に誇れる“ふじのくに”を、県民の皆さん、一緒に創っていきましょう!

川勝 平太 + ふじのくに県民クラブ

富国有徳の理想郷＝世界に誇れる“ふじのくに” 世界が憧れる「ジャパニーズ・ドリーム」の拠点を実現!

【基本理念】 「富国有徳」



【目指す姿】 世界最先端の課題を乗り越え、県民幸福度を最大化

「生まれてよし 老いてよし」

「生んでよし 育ててよし」

「学んでよし 働いてよし」

「住んでよし 訪れてよし」

【2017→2021へ】

◆“ふじのくに”づくりの総仕上げ→世界への発信



・「次代を担う若者たちによる県民会議」等で進められている議論を踏まえ、「人口減少・超高齢化」という世界最先端の課題を乗り越えるための中長期ビジョンと次期総合計画を策定し、“ふじのくに”づくりの総仕上げを進めます。

・これまでの8年間で着実に拡大・深化した地域外交を更に進め、国内外で実践されている先端事例を世界に誇れる“ふじのくに”実現のために積極的に導入・応用します。そして、静岡県が誇る農林水産物や伝統技術、先端技術の素晴らしさと共に、世界最高レベルの防災等の静岡モデルを世界に発信します。

【静岡県民の幸せのために】

**5つの柱 → ◆命を守る ◆福祉の充実 ◆人材育成
◆暮らしを豊かに ◆持続可能な社会づくり**



・「人口減少・超高齢化」は私たちの生活様式や都市景観・まちづくりのあり方を大きく変える好機です。高度成長期に失われた自然との調和を取り戻し、心身ともに健康でゆとりある生活ができる静岡県“ふじのくに”づくりを進めます。

・グリーンインフラ※、グリーンイノベーション※の推進により、防潮堤整備等の既存の対策に加えた「自然や地形に合ったしなやかな防災」を進めます。人口減少に伴う空き家や空き地の増加を「ゆとり創出の好機」と捉え、緑あふれ自転車や徒歩で巡りたくなる、高齢者や障がい者にも優しい「ゆとりあるまちづくり」を進めます。

・これまでの行政中心・依存型の自治からの転換を目指し、意欲ある若者から知識・経験豊かな高齢者まで、「ひとりひとりが主役」「困った時は助け合い」「地域の課題は地域で解決」という、真の住民自治による防災やまちづくりを実現するための環境整備を進めます。

※グリーンインフラ…自然が持つ多様な機能を積極的かつ有効に活用する社会資本整備や土地利用、防災等の取り組み。

※グリーンイノベーション…低炭素社会の実現を目指す技術的試みや社会的戦略。

【オール静岡で進めよう】

◆スポーツの聖地づくりとスポーツ王国しずおかの復活



・2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは自転車競技が静岡県内で開催されます。この好機を最大限活かし、自転車通行帯や自転車専用道路の整備等、快適な走行環境づくりを進め、「サイクリストの憧れを呼ぶ聖地」を目指します。

・障がい者スポーツの普及促進とともに、パラリンピックで活躍できる障がい者アスリートの支援を強化します。また、国体上位入賞や五輪選手輩出を目標としたジュニアアスリートの発掘・育成を通じて裾野の拡大を図り、スポーツ王国しずおかの復活を目指します。

◆世界水準の次世代産業の展開

- ・医療・健康、食品、光・電子、CNF など、本県が得意とする先端技術産業を更に伸ばし、新たな製品や事業を積極的に生み出すことで、世界と競える次世代産業の集積を進めます。
- ・農業分野での先端技術を活用した研究開発を進め、農産物の付加価値を高めることにより、世界への展開を強力に推し進めます。

◆世界に開かれた観光・通商・外交の実践

- ・観光、産業分野における海外需要の取り込みを通して「稼ぐ力」を向上させます。
- ・これまでに積み重ねてきた地域外交による良好な都市間関係を活かし、マーケティング戦略に基づく県産品のブランド力強化と販路の開拓・拡大を進め、県の観光や通商を大きく飛躍させます。

◆世界クラスの資源の発信

- ・富士山、お茶など世界に誇る地域資源の磨き上げを行うとともに、未だ多く眠る世界クラスの地域資源を発掘し、国内外に広く発信します。
- ・豊かな自然、歴史と調和する美しい景観など、本県が誇る「場の力」を最大限引き出し、世界から憧れられる県土づくりを目指します。

◆すべての子どもを大切に社会づくり

- ・ひとり親家庭や生活困窮世帯の子どもへ学びの機会を提供するなど、教育を取り巻く複雑な環境に積極的に対応し、社会総がかりで子どもを育む体制を構築します。
- ・官民協働による外国人の子どもの日本語教育や、高校生等の海外留学への支援、少人数教育の更なる充実など、教育や子育て支援等への投資を重点的に行ないます。

◆ワークライフバランスの推進

- ・“ふじのくに”「働き方改革」を実現することで、県民一人ひとりがやりがいと充実感を持って働くことができる職場づくりを促進します。
- ・官民協働でワークライフバランスを推進するとともに、それに必要な人材育成や意識改革を進め、物心ともに豊かな生活の実現と県民幸福度の底上げを目指します。

この8年で 世界に誇れる”ふじのくに”づくりは着実に前進 次の4年で総仕上げ！



◆静岡県に関する統計の一例（平成29年5月現在の最新データ）

○観光交流客数（単位：千人）

H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
140,749	138,433	129,661	138,081	144,968	147,935	149,127

○プロジェクト「TOKAI-O」木造住宅耐震化累積戸数

H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
10,922	13,561	14,777	16,312	17,571	18,576	19,556	20,657

○太陽光発電設備容量（単位：万kW）

H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
9.94	13.23	18.78	28.06	54.34	96.92	118.35

○企業立地件数 ★平成28年度全国1位

H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
44	41	37	65	50	53	55	74

○医療機器生産金額（単位：億円） ★7年連続全国1位

H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
1,956	3,069	3,449	3,652	3,739	3,865	3,700

○コミュニティ・スクール指定学校総数

H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
0	0	0	5	19	47	64	69

○県から市町への権限移譲対象法律数（累計） ★12年連続全国1位

H21.4.1	H22.4.1	H23.4.1	H24.4.1	H25.4.1	H26.4.1	H27.4.1	H28.4.1
120	122	128	120	124	126	126	128

※平成24年度の前年比減は、地域主権推進一括法（第2次一括法）の施行に伴い、条例移譲（静岡県独自の権限移譲）の対象法律が法定移譲に振り替わったことによるもの。

■作成：ふじのくに県民クラブ政策調査会